

1998年 3月15日号  
(平成10年)

No.744

毎月1日・15日発行

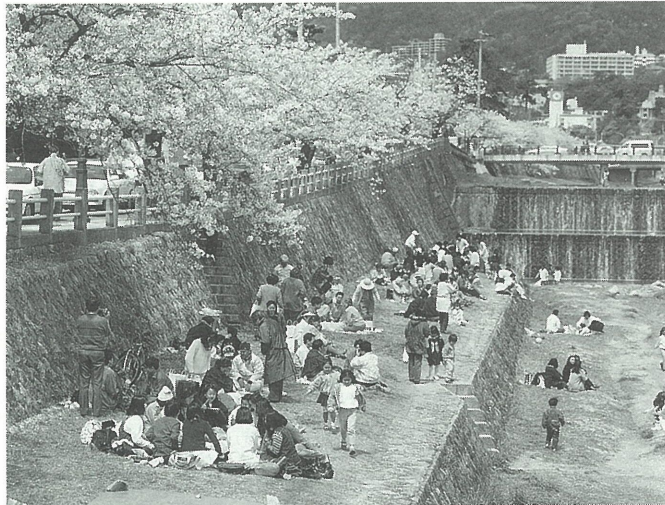
発行／芦屋市役所(広報課)  
☎0797-31-2121  
〒659-8501  
兵庫県芦屋市精道町7番6号

春だ！さくらだ！おまつりだ！  
第10回芦屋さくらまつり

問い合わせ コミュニティ課 ☎38-2007

4月4日(土)  
午前11時～午後8時 縁日  
午後1時30分～1時45分  
オープニングセレモニー  
午後2時～4時 イベント  
午後5時～7時 さくらコンサート  
4月5日(日)  
午前11時～午後8時 縁日  
午後1時～2時30分 イベント  
午後3時30分～7時 さくらコンサート  
※詳細については新聞折り込みチラシでお知らせします

各地の桜の開花状況に、一日一日胸をときめかせる季節がやってきました。平成橋(三月末完成予定)等、芦屋川周辺の復旧工事もようやく終わろうとしています。その桜の花の下、今年は四月四日(土)、五日(日)に芦屋川河畔で、芦屋さくらまつり協議会の主催により「第十回芦屋さくらまつり」が開催されます。今年も、さくらコンサート等の盛りだくさんのイベントや、商店街・福祉団体など約四十団体のにぎやかな縁日の出店が、皆さんのお越しをお待ちしています。



芦屋川右岸の平成橋も3月末完成予定です。

協賛イベント

■細雪まつり

日時 4月4日(土) 午後2時～午後3時30分  
会場 山手幼稚園北側「細雪」文学碑前(雨天：山手幼稚園)  
内容 短歌献詠、思い出トーク等  
献詠の短歌募集 詠題…谷崎を偲ぶ、細雪、復興等  
3月30日(月)までにはがきに短歌、住所、氏名、電話番号を記入のうえ下記まで。  
問い合わせ 谷崎潤一郎記念館(〒659-0052伊勢町12-15) ☎23-5852

■芦屋川の桜を描こう 春休み絵画コンクール

日時 4月3日(金) 午前11時～午後2時  
\*雨天の場合 4月6日(月)  
集合・受付 松ノ内緑地(市民センター北側、大正橋東詰)  
持ち物 画材用品(画用紙は用意します)  
参加資格 小学生(新小学生含む)  
その他 参加者全員に粗品進呈  
作品展示 4月27日(月)～5月6日(水)  
モンテメール館内4・5階通路

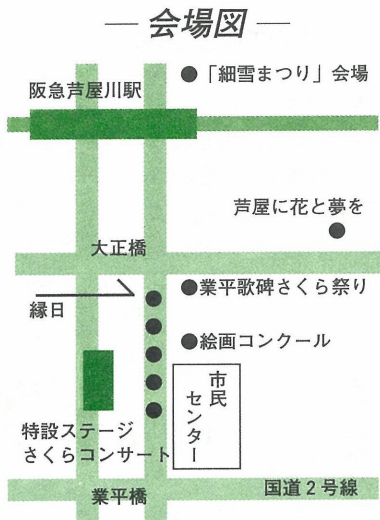
問い合わせ  
モンテメール管理事務所 ☎31-0203  
芦屋ステーションビル(株) ☎32-8011

■業平歌碑さくら祭り

日時 4月5日(日) 午前11時～午後1時  
会場 松ノ内緑地(市民センター北側、大正橋東詰)  
内容 献句、お茶接待  
問い合わせ  
芦屋文化友の会事務局 ☎22-7201

■芦屋に花と夢を

期間 4月4日(土)～5日(日)  
会場 JR芦屋駅北側 駅西商店街各加盟店  
内容 加盟店来店者に花の小鉢(総数2000鉢)プレゼント



・周辺道路は全面駐車禁止です。車での来場はお断りします。  
・4月3日(金)正午から5日(日)の終日芦屋川東岸の大正橋から業平橋の間は通行止めになります。ご協力をお願いします。

4月1日から

ごみ収集曜日がかわります

問い合わせ 環境サービス課 ☎22-2155

(変更後の収集曜日表) ※太字とアンダーラインで記載した町は変更になった町です

ごみの種類	出す時間	収集曜日	町名
可燃ごみ	午前8時30分までに	月・水・金	翠ヶ丘・親王塚・大原・船戸・松ノ内・月若・西芦屋・三条南・東山・東芦屋・剣谷・奥山・山手・山芦屋・西山・三條・奥池・奥池南・清水・前田・津知・川西・平田北・平田・業平・ <u>上宮川・楠</u>
		火・木・土	公光・大榎・茶屋之・宮塚・打出小槌・春日・打出・若宮・宮川・精道・浜芦屋・松浜・竹園・伊勢・呉川・西藏・浜・南宮・大東・ <u>朝日ヶ丘・六麓荘・岩園</u>
不燃ごみ 一分別収集 第2・4週(カンの日) 第3週(ビンの日) 第1・5週(その他燃えないごみの日)	午後0時30分までに	月	山芦屋・西山・ <u>宮川・精道・浜芦屋・松浜・竹園・伊勢・呉川</u>
		火	奥池・奥池南・月若・西芦屋・三条南・清水・前田・ <u>山手・奥山・津知・川西・平田北・平田・剣谷・三条</u>
		水	楠・上宮川・業平・公光・大榎・茶屋之・宮塚・打出小槌・春日・ <u>東山・東芦屋</u>
		木	朝日ヶ丘・ <u>翠ヶ丘・親王塚・大原・船戸・松ノ内</u>
		金	西藏・浜・南宮・大東・打出・若宮・岩園・六麓荘

南芦屋浜地区のまちづくり  
市長からのメッセージ 28

今年はやい開花予想とともに、春が足早に訪れてまいりました。いよいよ南芦屋浜地区の約八百戸の災害復興公営住宅への入居が始まります。震災から三年、長い間のご苦労があつたことと思いますが、「陽光町」という明るい町名のまちとともに、再び新しい歴史を築き上げていただきたいと願っています。

三月二十八日には、南芦屋浜北部地区のまちづくりの記念式典を行います。市民の皆さまに名付けていただいた浜風大橋、あゆみ橋、潮風大橋の三本の連絡橋によって、南芦屋浜地区と既成市街地とがつながります。

▽南芦屋浜地区は昭和四十六年から兵庫県の手で造成工事が進められ、平成九年一月末に埋立てが完成しました。平成八年一月には、震災からの教訓、復興住宅の整備を折り込んだ「南芦屋浜地区土地利用基本計画」が策定され、二二五・六ヘクタールの面積規模で、復興住宅を含め住宅戸数約三千戸、人口約九千人の街となる予定です。質の高い住宅地としての芦屋のイメージを持つ個性的で魅力あるまちづくりを継承し、ウォーターフロントの美しい景観の形成、水と緑を軸に豊かな生活環境づくり、そして、マリナーを核に住宅、商業、文化、海洋性レクリエーションなど賑わいや交流空間の創造など、二十一世紀の多彩なライフスタイルに対応する画期的なまちづくり計画となっています。

▽昨年九月に、「事業提案競技」の当選者も決定し、戸建て住宅、まちのシンボル・海からのランドマークタワーとなる超高层住宅、ヨットの係留施設付き住宅としてのタウンハウスなど、平成十一年から十二年間にわたって整備が行われることになっており、平成十三年にはマリナーの一部開港に合わせ、戸建て住宅の供給が行われる予定となっています。現在、事業計画の策定が進められていますが、今後、その事業計画に基づいて整備が進められていくこととなっています。

▽この三年間、厳しい復興の道でした。厳しさはこれからも続いていきますが、南芦屋浜地区で新しいまち、二十一世紀のまちづくりが始まります。明るい空、青い海、六甲山の緑、恵まれた大地に皆さまと一緒に力を合わせ幸せなまちを築いていきたいと思っています。

芦屋市長 北村 春江



### 教育委員会からの お知らせ

引っ越しをしても転校せずにそのまま就学を希望する場合など、通学区域に関する問い合わせ・相談は下記へどうぞ。

教育委員会総務課学事係 ☎38-2085

## 共に生きる社会をめざして

市内の学校園では、地域のかたがたや高齢者のかたがたとの「ふれあい」とおして、思いやりの心やたくましく生きる力を培っています。

E・D・U・C・A・T・I・O・N

# 教の育 の ページ

このページの問い合わせは  
学校教育課(☎38-2087)へ

### 地域の「一員」として

### のびやかに育つ子どもたち

浜風小学校

昭和五十七年四月の開校以来、十六年がたちました。開校当時からさまざまな施設・設備を工夫して整備してきたので、今では高層住宅に囲まれた校舎周辺には木々が生き生きと、中庭の池では金魚やカメが泳ぎ、広い運動場には



もっこり山で遊ぶ子どもたち

は「もっこり山」などのたくさんの遊具があります。子どもたちは恵まれた環境の中、学校生活を送っています。

本校では、地域のみなさんとのふれあいを深め広める活動として「土曜ふれあい事業」を行っています。具体的な活動内容は、授業参観を通じた高齢者とのふれあい、地域の清掃を行うクリーンウォーク、そして「ふれあい作品展」などです。これらの活動を、幼稚園・PTA・地域のみなさんと一緒に行うことにより、子どもたちが地域の「一員」として、地域の中で温かく育まれるよう、工夫しています。

震災の後、PTA「ゆうの会」により運動場周辺に新たにバラの花が植えられました。春と秋に大きく咲き誇る香り高いバラの美しさに子どもたちはぬくもりを感じ、新たな意欲を高めています。

### 「いきいき活動奨励賞」受賞までの道のり

市立芦屋高校

本校で福祉活動が始まったのは四年前。先輩からの活動を受け継ぎ育てたという生徒の願いで、平成八年に同好会ができ、九年には福祉部へと成長しました。

当初からの活動としては、特別養護老人ホームあしや聖徳園の夕食介助があります。日ごろお年寄りとは無縁の生活をしている生徒が、慣れない手つきでスプーンをお年寄りの口元へ運び、失敗を繰り返しながらもやっとな心を通わせることができた喜びを報告してくれました。養護老人ホーム和風園との交流では、夏のサッシ洗い、冬の換気扇清掃、一月の交流会と広がりができ

てきています。仮設住宅では、すまみ風防止作業や引っ越しの手伝い、催し物の裏方もしました。また、震災で小さな心を痛めた保育園児を慰問して、一緒に歌ったり遊んだりしたこともあります。今は次回の訪問に備え、紙芝居作りをしています。

ほかに、使用済みテレホンカード回収募金運動、日本海重油回収ボランティア、障害者ふれあい運動会など、活動の場も増え、「障害者甲子園」では障害を持つ高校生と四日間にわたり寝食を共にし、シンポジウムに参加しました。このような活動を通し、生徒たちは人の痛みがわかる優しい心を育

### 創立50周年を迎えて 新しい出発を

山手中学校

昭和二十二年四月新学制の発足とともに開校して以来、今年度で創立五十周年を迎えました。

昨年十二月六日に同窓生にお越しいただき、記念式典と、同窓生でもあり国際的にも有名なトランペッター、タイガー大越さんによる記念演奏会を行いました。

演奏会では、タイガー大越さんの演奏はもちろん人柄にも魅了され、一流の芸術にじかに触れる貴重な体験をすることができました。また、最後には会場全体で校歌を斉唱し、山中生としての一体感と古き良き伝統を実感しました。

このような歴史と伝統を継承しながら、今後「新たな山中」を作り上げていくには、生徒会の活動が重要な役割を担っています。昨年の十二月に二年



和風園を訪問する生徒たち

ることができたと確信しています。昨秋三人のリーダーが、全国規模で募集している「生き生き活動(ボランティア)」の作文コンクールに応募したところ、今までの活動成果が認められたのでしょうか、受賞することができました。今後も地道に活動を続けようとして生徒たちと話合っています。

生にバトンタッチされた現在の生徒会執行部は、「山中魂に火をつける」のスローガンのもと、古切手や使用済みテレホンカードを集めてユニセフに寄付したり、すがすがしい朝のスタートができるよう校門前のあいさつ運動をしたり、養護老人ホーム和風園でボランティア活動をしたり、さまざまな取り組みを行っています。

このような活動の基盤となっているのはあの阪神淡路大震災で体験した、生と死の重み、自然への畏敬の念、思いやりや助け合いの心と行動です。二十一世紀に向けて、自然、生命、そして人権の大切さをはぐくむ教育に取り組み、新たな学校作りを努力を重ねていきたいと思っています。

このように活動の基盤となっているのはあの阪神淡路大震災で体験した、生と死の重み、自然への畏敬の念、思いやりや助け合いの心と行動です。二十一世紀に向けて、自然、生命、そして人権の大切さをはぐくむ教育に取り組み、新たな学校作りを努力を重ねていきたいと思っています。

### こまとけん玉に夢中

宮川幼稚園

「わー、やったあー」「よかったね」ひととき大きな歓声が聞こえてきました。昨年末にサンタさんにプレゼントしてもらった「こま」が年少のクラスで盛んに行われていて、二十八人全員がこまを回すことができた瞬間の声だったのです。

まずこまにひもをきちんと巻くことができ、そしてこまを回せるようになること、次はどこでこまを回せるかにチャレンジします。小さな缶のふたの上、らせん階段のステップ等、より難度の高い所へと挑んでいき、そして見事にやっつてのけるのです。

年長のクラスでは、やはりサンタさんにももらったけん玉が人気です。「もしも、かめよ、かめさんよ」とひざでリズムをとりながら、大皿から中皿へ、中皿から大皿へと器用に玉を乗せていきます。玉には「がんばりきず」がいつばいできています。「もしかめチャンピオン」は五番の歌詞までいっ



もしかめチャンピオンに挑戦

ているのか。こちらでもクラス全員が達成する日も間近なことでしょう。

一月中旬には寒中登山をし、城山に登りました。「ヨイショ、ヨイショ」と声を出しながら、どの子も元気いっぱいでした。震災後に新しく整備された階段はやや急で、こわがるのではないかと心配していましたが、足を滑らせることもなく、木や根や岩を持ちながら一歩一歩慎重に登っていききました。

園児たちにとくましく「生きる力」が育ちつつあるのを感じ、頼もしく思っています。

### 平成9年度芦屋市吹奏楽連盟

### 「定期演奏会」のお知らせ

日時 3月29日(日)午後1時30分～  
場所 ルナ・ホール  
出演 潮見小学校コミスク金管バンド  
潮見中学校吹奏楽部 山手中学校吹奏楽部  
精道中学校吹奏楽部 県立芦屋南高校吹奏楽部  
県立芦屋高校吹奏楽部 芦屋市吹奏楽団

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087